

キクバヤマボクチ

Synurus palmatopinnatifidus
(Makino) Kitamura

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 分布域は狭く、本県での生育地は火山地域に点在し、個体数は少ない。草原の生育地は、畑地や植林地などに改変されており、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群

分布域 本州(近畿以西・中国) 四国 九州(熊本・大分・宮崎)

生育環境 丘陵地から山地の草原や林縁。

現 状 火山性高原では、畑地周辺の草原に残存する個体をみかけることがある。山地の草原で森林化している所では、生育状態が衰退している。

カンサイタンポポ

Taraxacum japonicum Koidzumi

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 県内での標本や記録はあるが、生育地の確認されている所は極めて少ない。生育地は路傍に多く、生育環境の変化が著しく、絶滅の危険性が高い。

県内分布 (英彦山・犬ヶ岳山地)，(九重火山群)，豊後水道域

分布域 本州(近畿地方以西) 四国 九州(福岡・佐賀・熊本・大分) 沖縄

生育環境 低地や山地の路傍，草原。

現 状 「豊後水道域」では10年前までは路傍に群生していたが、道路工事でほぼ壊滅状態になった。その後、周辺の草地などに少数の生育地が確認されている。「英彦山・犬ヶ岳山地」，「九重火山群」で採集された標本はあるが、その後、生育状態は把握されていない。

ツクシタンポポ

Taraxacum kiushianum H. Koidzumi

キク科
Compositae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 IB

選定理由 分布域は限られ、本県では山地の草原や林縁，路傍に生えるが、個体数は極めて少ない。植生遷移の進行や帰化植物との競合，登山道の整備などにより、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 (耶馬溪地区)，玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群

分布域 四国 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)

生育環境 丘陵地や山地の草原，林縁。

現 状 草原や林縁にごく希にみられ，個体数も限られる。場所によってはセイヨウタンポポ (*T. officinale*) と競合して生育地が狭くなっている。「耶馬溪地区」の標本はあるが，その生育地は把握されていない。

備 考 基準標本産地 [耶馬溪町川原口]